

はじめての 長文対策講座

氏 名		学 校 名	中学校
--------	--	-------------	-----

英語の長文が苦手だ、という話をよく聞きます。栃木県立入試では長文問題が主体であり、長文の成果で得点が決まってしまう。

本テキストでは、日本各県の入試問題を通じて、最終的には栃木県の長文に対応する読解力を養成することを意図しています。

英語が得意でない人にも、一つ一つ進めますので、担当の先生と一緒に取り組みましょう。

“Slow but steady wins the race.” ということわざがあります。「遅くとも着実な者がレースに勝利する」という意味です。一歩の進みをたのしみ、自分をほめながら、長い道のりを進んでいきましょう。

<目次>

ルール① 英語の語順は「主語 (S)」 + 「動詞 (V)」である。

ルール② 主語 (S) の後には動詞 (V) が来る。

ルール③ 一般動詞の後の単語は「～を・～に・～が」と訳す。

ルール④ 前置詞 + 名詞は様子・場所・時などを表す修飾語。() の中に入れて考える。

ルール⑤ 接続詞 when/if/because のあとは主語 (S) + 動詞 (V) が来る。

ルール⑥ 接続詞 that は△の目印をつけ「S が V すること」という一つのまとまりと考える。

ルール⑦ want to + 動詞の原形は「～したい」と訳す。

ルール⑧ to + 動詞の原形が動詞を説明するときは「～するために」という意味になる。

ルール⑨ ask 人 + to は「人に～するよう頼む」という意味になる。

ルール⑩ want + 人 + to ～ は、「人に～してもらいたい」と考える。

ルール⑪ 動名詞 (～ing) は「～すること」と考える。

ルール⑫ something + 語句の something は「～こと・もの」と考える。

復習問題①

ルール⑬ be 動詞 + 過去分詞は、「～される」という受け身の意味を持つ。

ルール⑭ There is ～ は「～があります」という意味。

ルール⑮ look at + 名詞は「見る」だが look + 形容詞は「形容詞に見える」と考える。

ルール⑯ 主語 (S) + 動詞 (V) + 人 + 物は「人に物を V する」と考える。

ルール⑰ make + A + B は「A を B にする」と考える

ルール⑱ how + S + V は「S はどのように V するか。」と考える。(間接疑問文)

ルール⑲ It is ～ (for + 人) + to … は「(人が) … するのは～である」と考える。

ルール⑳ so ～ that … は「あまりに～なので … 」と考える。

ルール㉑ as 原級 as は「～と同じくらい」と考える

ルール㉒ 比較級 (～er / more 原級) + than は「… よりも～」と考える。

復習問題②

ルール㉔ 関係代名詞 (名詞 + who + V) は、「V する名詞」と考える。

ルール㉕ 関係代名詞 (名詞 + which + V) は、「V する名詞」と考える。

ルール㉖ have + 過去分詞は現在完了形

ルール㉗ 名詞 + ing は「… している名詞」と考える

ルール③ 一般動詞の後の単語は「～を・～に・～が」と訳す。

動詞には be 動詞と一般動詞があります。

●be 動詞の意味は、①イコール「～です」と②存在「～があります」の2つが基本です。

●一般動詞は様々なものがあり、一つ一つの動詞の意味を覚えていくことが重要です。

一般動詞 (V) のあとには「～を」「～に」「～が」と訳す語句が続きます。

この言葉を目的語 (O) と呼びます。

「一般動詞のあとには、を・に・が、が来る」と覚えておきましょう。

(練習問題) 次の英文の中で、目的語 (O) となる語句に下線を引き、O と書きなさい。

1. I practice soccer. 「私はサッカーを練習します。」 <解答> soccer
2. Give me. 「私にください。」 <解答> me
3. He likes apples. 「彼はリンゴが好きです。」 <解答> apples

問3. 次の文章をよみ、後の問に答えなさい。

Satoko is a high school student. Last summer, she visited America to study English. She stayed with the King family. In the family, there were Mr. King, Mrs. King, and their child, Karen. She was fifteen years old.

One evening, Mrs. King said, "It's time for dinner. Everyone, come here!" When Satoko came to the table, she found something brown on a slice of bread. She said, "Oh, is this *natto*?" Karen answered, "Yes, you're right. We mix *natto* with jam and put it on a slice of bread." Satoko was surprised to hear that.

※something brown ・ ・ 何か茶色いもの

問3. Did Satoko know how the King family ate *natto* before visiting them?

STEP. 本文中の下線部の目的語 (2 語) に線を引き、(O) と記入した上で下線部を訳しなさい。

she found something brown on a slice of bread.

<日本語訳>

解答 _____

問3. 解答欄

she found / something brown / (on a slice of bread) .

O

彼女は見つけました 何か茶色いものを 1枚のパンの上に

⇒彼女は1枚のパンの上に、何か茶色いものを見つけた。

解答3 : No, She didn't

ルール④ 前置詞＋名詞は様子・場所・時などを表す修飾語。（ ）の中に入れて考える。

文章が長く複雑になる一つの理由は、(about や in など前置詞＋名詞) が加わるからです。これらは、文章の骨組みではなく、修飾語と呼ばれ、状態や、場所や時などを加える表現になります。S＋V を見抜くためには、前置詞＋名詞を（ ）に入れて修飾語のかたまりとして考えましょう。高校になると修飾語は **M** と表記します。

(例) It is a picture book (about plants and animals.) : それは (植物と動物についての) 絵本です。

S V C M : 修飾語 <book を説明する>

We were born (in a small town.) : 私たちは (小さな町で) 生まれました。

S V M : 修飾語 <were born を説明する>

<注> be＋過去分詞 (受け身)・be＋～ing (進行形)・have＋過去分詞 (完了形) などは全体で **V** と考えます。

問 4 .次の問に答えなさい。 <茨城県>

This is a picture book about a dog and a cat. They were born in a small town. They were good ④(f) and always played together. ⑤(O) day, they left the town to travel all over the world. They were happy to see many other animals. Now, I also want to go abroad and ⑥(m) different people there.

問 4 B の英文が完成するように、文中の④～⑥の () 内に、最も適切な英語を、それぞれ 1 語ずつ書きなさい。なお、答えはすべて () 内に示されている文字で書き始めるものとします。

STEP. 次の文の前置詞＋名詞を () でくくったうえで、主語の下に S・動詞の下に V と書きなさい

①This is a picture book about a dog and a cat.

②They were born in a small town.

問 4 : 解答欄 ④【 】 ⑤【 】 ⑥【 】

STEP

①This is a picture book (about a dog and a cat.)

S V M

②They were born (in a small town.)

S V M

問 4 : 解答④friends・⑤One・⑥meet

ルール⑤ 接続詞 when/if/because のあとは主語 (S) + 動詞 (V) が来る。

接続詞には△の目印をつけ、

S が V したとき／もし S が V するなら／S が V するのでと考える。

文章を複雑にするのが、when+S+V／if+S+V などです。これは接続詞と呼ばれて、時「~のとき」や条件「もし~が~したら」と訳します。

問 5. 次の問に答えなさい。沖縄県

When they got home, Yutaka and his father talked about it. "Her rooms are too hot. Isn't there anything we can do? I want to help her,"

問 5 Why did Yutaka want to help his grandmother?

because

ア it was her birthday

イ she visited his house

ウ her rooms were very hot

エ she liked *goya*

goya・・・ゴーヤ

STEP 下線部の接続詞 (When) に△印をつけた上で、上の本文の下線部を日本語に直しなさい。

問 5 【 】

STEP 彼らが家に着いたときに、ユタカと父はそれについて話しました。「彼女の部屋は暑すぎる。」と。

問 5 ウ

ルール⑥ 接続詞 that は△の目印をつけ「SがVすること」という一つのまとまりと考える。

接続詞の that+S+V は「SがVすること」と訳します。高校入試ではたいてい動詞の直後に来ます。この that は省略されることも多くあり、その時は SV (that) SV となります。when・if・that の後には S+V が来ることを予想して読み進めましょう。

問6. 次の問に答えなさい。〈沖縄県〉

Now Yutaka is going to tell his friends about “green curtains.” He hopes that many people in Okinawa will learn about them.

問6 : What does Yutaka hope for?

- He hopes that
- ア his family will visit his grandmother.
 - イ summer in Okinawa will be very hot.
 - ウ he can work at his father’s office.
 - エ people in Okinawa will make green curtains.

STEP 上の本文の下線部を日本語に直しなさい。

問6 【 】

STEP 彼は沖縄の多くの人々が、それら（緑のカーテン）について学ぶことを望んでいます。

問6 エ

ルール⑦ want to + 動詞の原形は「～したい」と訳す。

want to 原形（～したい）・like to 原形（～するのが好き）・start to 原形（～し始める）

decide to（～することに決める）といった、動詞+to 不定詞の形は 100%入試問題に出てきます。

特に want to（～したい）⇔ would like to（～したい）は長文だけでなく英作文でも使えます。

問7. 次の問に答えなさい。＜沖縄県＞

Takashi : I want to be a *photographer like my father. He takes pictures of famous buildings in Japan. But I want to go to many countries and take pictures of many people in the world. I want to make a *photo book of them in the future.

問7 Why should Takashi study English harder?

- ア Because he needs to write a letter in English.
- イ Because he needs to speak English in foreign countries.
- ウ Because he wants to make a photo book in English.
- エ Because he wants to be an English teacher like Ms. Higa.

*photographer 写真家

STEP 上の本文の下線部（2か所）を日本語に直しなさい。

問7 【 】

STEP 私は父のような写真家になりたい。

でも私は多くの国々に行き、世界の多くの人々の写真を撮りたい。

問7 ウ

ルール⑧ to+動詞の原形が動詞を説明するときは「~するために」という意味になる。

to+原形には3つの用法があります。

- 1) 名詞的用法・・・「~すること」・・・want to など動詞のあとや、It・・・for・・・toなどで頻出
- 2) 副詞的用法・・・「~するために」・・・前に出てきた動詞や文全体を修飾する
- 3) 形容詞的用法・・・「~するための・~すべき」・・・直前の名詞を修飾する

to+原形が文全体や、動詞を説明する場合は「~するために」という副詞的な意味になります。

問8. 本文を読み、次の間に英語で答えなさい。〈青森県〉

An American man went to a developing country to enjoy his vacation. One day he had a chance to visit a school in the mountains.

※vacation 休暇 ※chance 機会 ※mountains 山岳部

問8 Did the American man go to the developing country to study about schools?

STEP 上の本文を日本語に直しなさい。

問8 _____

STEP 1 あるアメリカ人男性が休暇を楽しむために発展途上国に行きました。ある日、彼は山岳部の学校を訪れる（ための）機会がありました。

問8 No, he didn't.

ルール⑨ ask 人+to は「人に～するよう頼む」という意味になる。

不定詞の名詞的用法の応用表現として、次のようなものがあり、入試で頻出となります。

- ask+人+to・・・「人に～するよう頼む」
- tell+人+to・・・「人に～するよう言う」
- want+人+to・・・「人に～してほしい」
- order+人+to・・・「人に～するよう命令する・言う」
- It is 形容詞+ (for 人) +to 動詞・・・「人にとって動詞することは形容詞だ」

問9. 次の問に答えなさい。＜青森県＞

When you were a baby, the neighbors often took care of you because they knew we were very busy in the store. We didn't ask them to do it, but they did it for us. We must help each other.”

※neighbors : 近所の人

問9 下線部 do it が指す内容を日本語で説明しなさい。ただし you はケイトと訳すこと。

STEP. 接続詞に△を付けたうえで、本文全体を日本語に直しなさい。

問9 解答欄

STEP あなたが赤ちゃんだったとき、私たちが店でとても忙しかったので、近所の人たちはしばしばあなたのことを世話をしていました。私たちはそうするようには頼んでいませんでした。でも彼らは私たちのためにそれをしてくれたのです。私たちはお互いに助け合わなければなりません。

問9 ケイトの世話をすること

ルール⑩ **want**+人+to~は、「人に~してもらいたい」と考える。

want to~は「~したい」と考えますが、want+人+to~は「人に~してもらいたい」と考えます。

(例) I want to go to Africa tomorrow. 「私は明日アフリカに行きたい。」

(例) I want **you** to go to Africa tomorrow. 「私は明日あなたにアフリカに行つてもらいたい。」

問 10. 次の文章をよみ、後の問に答えなさい。 <福井県>

Yuki is a junior high school student. Before winter vacation, her teacher said, "What kind of job do you want to do when you become an adult? If you think about your job now, you will understand why you have to study many subjects at school. And your school life will be better, too. I want you to choose one place and work there for three days during winter vacation. Then you have to write a report about the job. That is your homework. In January, you are going to talk about the job in front of other students."

問 10 先生が Yuki たちに与えた冬休みの宿題は何か。日本語で書け。

STEP. 本文中の下線部を日本語に直しなさい。

問 10 解答欄

STEP

私はあなたたちに（が）一つの場所を選び、冬休み中に3日間そこで働いてもらいたい。

それから、あなたたちはその仕事についてレポートを書かなければなりません。これがあなたがたの宿題です。

問 10 解答 冬休み中に、1か所選んで、そこで3日間働き、それからその仕事についてレポートを書くこと。

ルール⑪ 動名詞（～ing）は「～すること」と考える。

「～すること」という時は、不定詞の名詞的用法のほかに＜動詞の・・ing形＞を使うこともできます。これを動名詞と言います。動名詞は動詞の後だけでなく、主語や、前置詞の後にも使われます。

「～すること」と訳せない場合には、前後の文脈に合うように訳しましょう。

例) **Learning** English is important. 「英語を勉強することは重要です。」・・・主語になる

例) I enjoyed **watching** the movie. 「私はその映画を見ることを楽しみました。」動詞の後に来る。

※動名詞を続ける動詞としては＜finish・enjoy・stop＞が頻出。

例) She left home without **saying** good bye. 「彼女はさよならも言わずに外出した。」前置詞の後に来る。

問 11. 次の文章をよみ、あとの問に答えなさい。高知改

I'm Naoya. I'm a high school student. I like reading books. I read a book every day. I like reading books better than watching TV. Reading good stories is very exciting to me.

問 11. What is very exciting to Naoya? に対する答えを、本文中より3語で抜き出さない。

STEP. 本文全体を日本語に直さない。

問 11

STEP

私はナオヤです。私は高校生です。私は本を読むことが好きです。※読書が好きですは×

私は毎日本を読みます。私はテレビを見ることよりも本を読むことが好きです。良い物語を読むことは私にとってとてもわくわくします。

問 11 Reading good stories

ルール⑫ something＋語句の something は「～こと・もの」と考える。

something は漠然としたかたまりをイメージさせます。ですから「何か」と訳しますが、この訳が文脈と合わない場合には、「～なこと」「～なもの」と訳してみるといい場合があります。something のあとには、new・old・などの形容詞や、to＋原形の不定詞が来ます。

(例) He has something new in his bag. 「彼は新しいものをカバンの中に持っている。」

(例) There was something hot to eat. 「暖かい食べ物がありました。」

問 12. 次の文章をよみ、後の問に答えなさい。 <福井>

I take part in the summer festival of our town every year and play the *Japanese drum for it. When I first played the drum five years ago, I couldn't play it. So, some older people taught me how to play it. I also learned a lot about the festival and our town. They often say to me, "You should teach little children how to play the drum." I know it will not be easy, but ② I'm very glad to hear that. I can do something useful for the people in our town.

問 12 下線部②について、その理由を日本語で書きなさい。

STEP. 本文中の下線部を日本語に直しなさい。(I'm～ our town まで)

問 12 解答欄

STEP

私はそれを聞いてとてもうれしかった。私は町の人々のために役に立つことができます。

問 12 解答 (例) 自分が町の人々のために役に立つことができるから。

復習問題① 今までの範囲の文法事項を用いて、次の日本語を英文に直しなさい。

問 次の文章は、グリーン先生の話聞いたあとで、生徒が感想を書いたものです。下線部

1, 2をそれぞれ一つの英文にしなさい。

1 彼の考えはすばらしいと思います。 He helps many people in developing countries.

2 私は人々の役に立つことをしたいです。

復習問題① 上の本文（2か所）を日本語に直しなさい。

1 _____

2 _____

<復習問題①解答例>

(例) I think (that) his idea is wonderful. (great も OK)

(例) I want to do something useful for people. (would like to も OK)

ルール⑬ be 動詞＋過去分詞は、「～される」という受け身の意味を持つ。

英語では、「する」と「される」という態を非常に厳密に意識します。be＋過去分詞が出てきたときは、「～される」という意味になりますので、和訳の際にも意識して「～される・～されている」という訳を作ります。

問 13. 次の問いに答えなさい。

This word, “OK,” is often used in America and Japan. But I didn’t know where the word came from. Do you know? Here are some stories I read on the Internet about it.

問 13 たろうのスピーチの内容と合うように、次の質問に対する答えを一つの英文で答えなさい。

What countries is “OK” often used in?

STEP. 下線部全体を日本語に直しなさい。

問 13 解答欄

STEP “OK” という単語はしばしばアメリカと日本で使われます。しかし、私はその単語がどこから来たのかを知りませんでした。

(あなたは知っていますか。ここに私がそれについてインターネットで読んだ、いくつかの話を挙げます。)

問 13(例) It is often used in America and Japan.

ルール⑭ **There is** ～は「～があります」という意味。
主語と時制に合わせて **be** 動詞を変化させる。

There is (are / was / were) は、「～があります」と考えます。**be** 動詞の後に主語が来るので、後ろの主語と、時制に合わせて **be** 動詞を変化させます。また、この書き換えとして “**have** (has) ～” がありますので気を付けましょう。

(例) **There is a big park in our city.** (私たちの市には大きな公園があります。)

書き換え問題

Our city () a big park.

※ () には **has** を入れる

問 14. 伝統芸能を復活させるため拓が取り組んだ文章をよみ、後の問に答えなさい。

The next spring came and went, and summer came again. Taku's father came back from the hospital. ①There were more than twenty people on Taku's team then. A lot of village people helped them to show the *kabuki* again. ②Some people gave them the *costumes, and others gave them things to make the *set. At first Taku thought he wanted to show the *kabuki* for his father, but now he was working for the people in the village.

※costume(s) 衣装 ※set 舞台セット

問 14 拓さんが仲間を集めて活動を開始したときに比べて、次の年の夏には仲間の数が増えました。仲間の数が増えたことを示している 1 文を、本文中から抜き出して書きなさい。

STEP. 本文中の下線部①②を日本語に直しなさい。

問 14 解答欄

STEP

①拓のチームには 20 名以上の人々がいました。

②彼らに衣装を与えた人もいれば、(彼らに) 舞台セットを作るためのものを与えた人もいました。

問 14 **There were more than twenty people on Taku's team then.**

※some~, others~ は「～なもの (人) もあれば、～なもの (人) もある」

ルール⑮ **look at**+名詞は「見る」だが **look**+形容詞は「形容詞に見える」と考える。

「～に見える」「～のようだ」と人や物の様子を言うときは<look+形容詞>で表す。形容詞とは人や物の様子や状態を表す語で、happy（幸せな）,busy（忙しい）,excited（わくわくして）などがあります。

look の代わりに become を使うと「～の状態になる」という意味を表します。become の後には名詞がくることがあります。

(例) You **look** very excited. 「きみはとても興奮しているように見えるね。」

(例) They **become** beautiful. 「彼女たちはとても美しくなりました。」

問 15.以下の文を読み、あとの問に答えなさい。<京都>

Kenji: It's a picture of my school trip. We went to Kyoto when we were junior high school students. We made small groups, and each of the groups used a map and visited some famous places.

Bob: That sounds interesting. When I had a school trip in my country, our teacher always wanted all of us to be in the same place together. Oh, I like this picture. Your group went to see this beautiful building. All of you look so happy. What's this building?

Kenji: It's *Kinkaku*. It's very famous in Kyoto. I saw many people when we visited it for the school trip.

Bob: I see. I want to see it someday, too. It's so beautiful.

問 15. 次の問に 3 語以上の英文で答えなさい。

Did Bob know *Kinkaku* when he first looked at Kenji's pictures?

STEP. 本文中の下線部を日本語に直しなさい。

問 15 解答欄

STEP あなたがた皆が、とても幸せそうに見えます。この建物は何ですか。

問 15 解答 No, he didn't.

ルール⑩ 主語（S）＋動詞（V）＋人＋物は「人に物をVする」と考える。

毎年の文章で、必ず出されるのが、S+V+人+物の文です。

この文型を取る動詞は、次のようになりますので、必ず「人に物をVする」と正確に訳しましょう。

①give 型・・・give+人+物「人に物を与える」／show+人+物「人に物を見せる」
tell+人+物「人に物を言う」／send+人+物「人に物を贈る」など

②make 型・・・make+人+物「人に物を作る」／buy+人+物「人に物を買ってあげる」

<+α>give 型は、give+物+to+人と、前置詞 to を使って語順を入れ替えることができます。

make 型は、make+物+for+人と、前置詞 for を使って語順を入れ替えることができます。

問 16. 文章を読んで、次の間に英語で答えなさい。＜新潟＞

A long time ago, there was a *president in America. His *assistants came to his room and they showed him some good ideas. He looked at these ideas every day. When he liked an idea, he wrote *“All Correct” on the paper. But he sometimes *made spelling mistakes. He wrote “Oll Korrekt” not “All Correct.” Then “Oll Korrekt” became “OK.”

*president : 大統領 *assistants : 助手

問 16 What did the president's assistants do when they came to the president's room?

STEP. 下線部全体を日本語に直しなさい。

問 16 解答欄

STEP

長い昔に、アメリカに一人の大統領がいました。彼の助手たちが彼の部屋にやってくる、彼にいくつかの良い考えを見せました。

問 16 (例) They showed him some good ideas.

ルール⑰ **make+A+B**は「**A**を**B**にする」と考える

「AをBの状態にする」というときは、<make+A（人など）+B（形容詞など）>で表します。

Aに代名詞がくるときは、him・her・usなどの形（目的格）になります。

この形をとる動詞には次のようなものがあります。

- make AB : 「AをBにする」
- call AB : 「AをBと呼ぶ」
- name AB : 「AをBと名付ける」

(例) Her **e-mail** made him happy. 「彼女の電子メールは彼を幸せにしました。」

問 17. 職業について調べるという宿題を与えられた Kaori に関する文を読み、次の間に答えなさい。

The next day Yuki talked about the homework with her friend Kaori. Kaori said, “I have decided to work at a hospital. This is a great chance for me because I have wanted to be a nurse since I was a little child. I want to help sick people and make them happy.” Kaori looked happy while she was talking.

問 17 Kaori に関する説明として最も適当なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えよ。

- ア Kaori didn't know what kind of job she wanted to do.
- イ Kaori was glad to have a chance to work at the hospital.
- ウ Kaori's mother worked at the hospital.
- エ Kaori could not help her mother because she had a cold.

STEP 1. 本文中の下線部を日本語に直しなさい。

問 17 解答欄 【 】

STEP

「私は病気の人を助け、彼らを幸せにしたい。」かおりは話している間、幸せそうに見えました。

問 17 解答 イ

ルール⑱ how+S+V は「SはどのようにVするか。」と考える。（間接疑問文）

疑問詞で始まる疑問文は、動詞の目的語になることができます。このとき、動詞の後には
<疑問詞+S+V>の語順になります。代表的なものは以下のようなものです。

①how+S+V・・・SはどのようにVするか

例) Tell me how you make sushi. (あなたはどのように寿司を作るか教えてください。)

②what+S+V・・・Sは何をVするか

例) I know what you bought at that store. (あなたは何をその店で買ったのかを知っています。)

③why+S+V : SはなぜVするか

例) I know why she is sad. (私は彼女がなぜ悲しいかを知っています。)

問 18. 老人ホームでの動物療法に関するシンの考えを述べた分を読み問いに答えなさい。
<山形>

Shin :We learned another important thing. Animals cannot understand our language, but they can understand how we feel. So they can become our friends, and they can give us hope to live.

問 18 動物が人間の友となり、生きる希望を与えてくれるのはなぜか。その理由を日本語で書け。

STEP. 本文中の文章全文を日本語に直しなさい。

問 18 解答欄

STEP 1

私たちはもう一つの重要なことを学びました。動物たちは私たちの言葉は分かりません。しかし彼らは私たちがどのように感じているかを理解することができます。だから彼らは私たちの友達になることができ、(彼らは) 私たちに生きるための希望を与えてくれるのです。(to live は hope を説明し、「～ための」と訳します)

問 18 解答 動物は私たちの言葉を理解できないが、私たちがどう感じているかは理解できるから。

ルール⑱ **It is** ～ (for+人) +to・・・は「(人が)・・・するのは～である」と考える。

It is～の it は仮の主語で「それ」の意味はありません。for 人はあとに続く不定詞の動作主を表します。動作主を特に占める必要のない場合には for 人は省略されます。

(例) It is easy for me to get up early. 「私が早く起きるのは簡単だ。」

問 19. 次の文章をよみ、後の問に答えなさい。 <三重>

ALT, Ms. Brown often says in her English classes and in the club, "It is important for you to use English."

One Sunday Kenji went to the city library near Aoba Station. After reading some books, he returned to Aoba Station. When he was waiting for a train to Midori Station, he saw a woman. She was looking around. He said to himself, "She doesn't know the train she should take. I want to help her. Is she from another country? Does she speak English?" ①Then Kenji remembered the words of Ms. Brown. He said to the woman, "Excuse me, do you speak English?" She said, "Yes, I do."

問 19 下線部①に Then Kenji remembered the words of Ms. Brown. とあるが、Kenji は Ms. Brown のどのような言葉を思い出したのか、その言葉の内容を日本語で書きなさい。

STEP. 本文中の下線部 (It is important for you to use English) を日本語に直しなさい。

問 19 解答欄

STEP あなたにとって英語を使うことは重要です。

解答 19 英語を使うことが重要であるということ。

ルール⑳ so ～that・・・は「あまりに～なので・・・」と考える。

so+形容詞+that+S+Vは、「あまりにも～なので・・・だ」と考えます。

しばしば、too～to・・・で「あまりに～すぎて・・・できない」という文との書き換えがあります。

(例) John was so clever that he ate only the good potatoes.

「ジョンはとても賢かったので、よいジャガイモだけを食べました。」

問20. 次の問1・問2の対話文の〔 〕内の語句を並べかえて、意味の通る英文を完成させなさい。

ただし〔 〕内の語句を全部使うこと。<高知県>

問20. *Ben* : Sam, you'll have your first baseball game this afternoon.

Sam : Last night, I〔 was / excited / couldn't / so / I / that 〕sleep well.

Ben : Are you OK? Enjoy your game.

解答 : Last night, I (_____) sleep well.

STEP. 作成した文章をを日本語に直しなさい。

問20 解答 Last night, I (was so excited that I couldn't) sleep well.

STEP 昨夜、私はあまりに興奮していたので、よく眠ることができませんでした。

ルール⑳ as 原級 as は「〜と同じくらい」と考える

2つ以上の物や人を比べて「・・・と同じくらい〜」という時は<as・・・as>の形で表します。
また、否定文は<not as～as・・・>で表し、「・・・ほど〜ではない」という意味になります。

問 21. ホームステイを経験した直子とキャシーとの会話を読み次の間に答えなさい。愛知

Naoko: I've found many new things since I came here. For example, I feel that American people exchange greetings with each other more often than Japanese people. Here, people say "Hello," or "How are you?" to me in the elevator or in the shop, even when I haven't met them before.

Cathy: I've never thought about greetings in that way.

Naoko: Really? That's one of the things I've found in America. Well, at first, I came here to study English, but I learned a lot about American culture. I believe that experiencing different cultures ⑤ 【 as / as / is / studying / languages / important / foreign 】.

問題 ⑤を意味が通るように正しく並び替えなさい。

I believe that experiencing different cultures

STEP.並び替えた問題の文章全文を日本語に直しなさい。

解答 21 I believe that experiencing different cultures (is as important as studying foreign languages).

STEP 異なる文化を経験することは、外国語を勉強することと同じくらい重要であると私は考えています。

ルール② 比較級（～er / more 原級）＋than は「・・・よりも～」と考える。

比較には次の3つがあります。どれにあたるかを考えながら、読み進めていきましょう。

- ①as 原級 as～・・・「～と同じくらい」
- ②～er（比較級）＋than・・・「・・・よりも～だ」
- ③～est（最上級）＋in 集団または of all など・・・「・・・の中で最も～だ」

問 22. 次の魚の嗅覚についての文章を読み、後の問に答えなさい。＜栃木＞

Do you know that there are smells in the water? The ※smells give the fish (1)very important messages. From the smells the fish know that there is food around them. They also know that there are bigger fish that eat them.

※smell=におい

問 22 下線部(1)の指す内容を具体的に二つ日本語で書きなさい。

STEP. 下線部（The smell～them）を日本語に直しなさい。

問 22 解答欄

① _____

② _____

STEP

においは魚にとっても重要なメッセージを与えます。においから、魚は自分たちの周りに食べ物があることを知ります。彼らはまた自分たちを食べるより大きな魚を知るのです。

問 22

(例) 周りに食べ物があるということ。
(例) 自分を食べる大きな魚がいるということ。

ルール②③ the+最上級（+in / of）は最上級

3つ以上の人や物を比べて「最も～」という時は、<the+最上級>の形を用います。

「・・・の中で」は<in+場所や範囲>または<of+all や数>の形で表します。

入試では長文だけでなく、文法やリスニングでも出題されます。

(例) 秋田県文法問題

A: The city hall looks old.

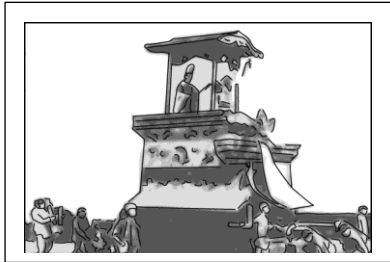
B: The _____ our city.

[ア in / イ oldest / ウ is / エ the / オ building]

問 23.次の文章をよみ、後の問に答えなさい。<愛知県>

①については適切な単語を用いた4語で記入しなさい。

②は【】内の語を利用して英文に直しなさい。



山車について

- 祭りのために飾り付けられた9台の山車が、九つの町から来る。
- それぞれの町の人々は、自分たちの山車のことを気にかけている。
- 最も古い山車は、約350年前に作られた。

Kathy: Look! We can see something that looks like a shrine on a car.

Hideo: That is called a *dashi* or a festival car.

Kathy: Oh, there are eight cars coming after it. They are all very beautiful.

Hideo: For this festival, the nine cars are decorated and come here together from nine towns.

①People in each town () own car. < break, care, heart, study >

Kathy: How old are the cars?

Hideo: ②The () about 350 years ago. 【 one, was 】

問 23 解答欄

①People in each town () () () () own car. ※4語で記入

②全文を記入

問 23 解答

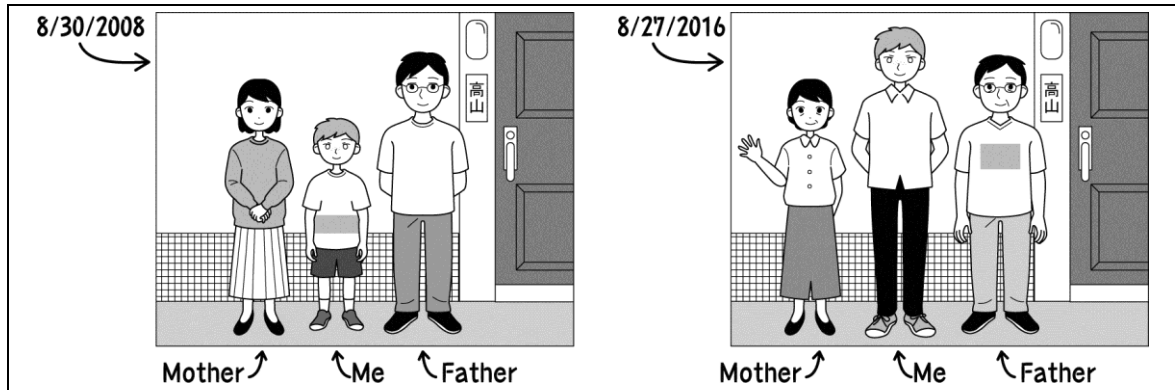
①People in each town (take) (care) (of) (their) own car.

②The (oldest one was made) about 350 years ago.

復習問題② 今までの範囲の文法事項を用いて、次の日本語を英文に直しなさい。

<栃木県>

復習問題② 次の絵はカナダ人のフィル(Phil)が友人のジェーン(Jane)に見せている写真である。二人の会話の(1), (2)に適切な英語を入れなさい。但し、1語とは限りません。



Phil: Look at these two pictures. I stayed with this family in 2008 and I went to see them again last year.

Jane: You were _____ (1) _____ your host mother in 2008, but in 2016 you're _____ (2) _____ in your host family. You have changed so much!

解答欄

(1)

(2)

復習問題②解答

(1)	(例1) shorter than (例2) not as tall as
(2)	(例1) the tallest (例2) the biggest

ルール②④ 関係代名詞（名詞+who+V）は、「Vする名詞」と考える。

人について「～する・・・」と説明する時は<名詞+who+動詞>の形で表します。

<who+動詞>は前の名詞を説明しており、whoはその中で主語の働きをしています。

例：She is the girl who helps me every day. 「彼女は毎日私を助けてくれる少女です。」

問 25. MAX 先生に質問したいことのアンケートに答えた文を読み問いに答えなさい。<福島>

Survey Result : "What do you want to ask Max?"

・ (A)	55
・ Why did you come to Japan?	34
・ (B)	34
・ Do you worry about anything?	21

Aya: Max, more than 50 students want to know about your *hometown. Could you tell us about it?

Max: OK. My hometown is a small city in Canada. It has beautiful nature. There is a big river through it. You can swim there in summer. When it gets very cold in winter, you can walk on the river. The river is *frozen in winter. Some people even play *ice hockey there.

Jiro: Ice hockey on the river? That's exciting!

Ms. White: That sounds interesting. OK, Aya, what's the next question?

Aya: Let's see. How about this? Why did you come to Japan?

Max: Well, there are also 34 students who want to know what I want to do in Japan. So, I'll tell you about that question, too. The two questions *are connected.

*are connected 関連している

問 24 (B) に当てはまる質問を下の 1～3 から選びなさい。

- 1 : Can you tell me about your hometown? 2 : What do you want to do in Japan? 3 : Do you want to eat *sushi*?

STEP 1. 本文中の下線部を日本語に直しなさい。

問 24 解答 【 】

STEP

アヤ : ええと、これはどう。「あなたはどのようにして日本に来たのですか」。

マックス : ああ、「日本で何をしたいのか」を知りたがっている 34 人の生徒もいますね。だから、僕はあなた達に、その問題も一緒に伝えます。その二つの質問は関連しています。

問 24 解答 2

ルール②⑤ 関係代名詞 名詞（+S）+which+Vは、「(Sが) Vする名詞」と考える。

物について「～する・・・」と説明する時は<名詞+which+動詞>の形で表します。

<which+動詞>は前の名詞を説明しており、whichはその中で主語の働きをしています。

<which+主語+動詞>は前の名詞を説明しており、whichはその中で目的語の働きをしています。

例：This is the computer which my father gave me last week.

「これは父が先週くれたコンピュータです。」

問 25. 次の文章をよみ、後の問に答えなさい。

When the man was an elementary school student, he often visited a beautiful ※mudflat near his house with his friends. He enjoyed catching fish, looking for crabs and watching birds.

After about twenty years, he visited the mudflat again. A He became sad when he saw the mudflat.

It was not the mudflat which he remembered. No child was playing there because of a lot of litter.

There were a lot of old shoes, plastic bottles, broken bikes and other things on the mudflat.

※mudflat : 干潟 ※litter : ごみ

問 25 下線部分 A について、彼が干潟を見て悲しくなった理由を、具体例を含めて日本語で書きなさい。

STEP. 本文中の下線部 (It was～on the mudflat) を日本語に直しなさい。

問 25 解答欄

STEP

それは、彼の覚えている干潟ではなかった。ごみのために一人も子供があそんでいなかった。多くの古い靴、ペットボトル、壊れた自転車やその他のものが干潟にはあった。

問 25 解答 古い靴やペットボトル、壊れた自転車などのごみがたくさんあるために、干潟で遊ぶ子供がひとりもいなくて、彼が覚えている干潟ではなかったから。

ルール②⑥ **have**＋過去分詞は現在完了形

現在完了形には、次の3つの意味があります。文章の前後から適切な意味を考えましょう。

①完了「～してしまった」・・・（例）I have just finished my homework.

<just・already・yet などと使われることが多い>

②継続「ずっと～している」・・・（例）We have been friends since last year.

<since・for・How long などと使われることが多い>

③経験「～したことがある」・・・（例）I have used this computer twice.

<once・twice・three times や、never・have been to・How many times などと使われることが多い>

問 26. 次の文章をよみ、後の問に答えなさい。三重県

Hiroyuki: He looks very kind. I also want to become friends with David.

Toshio : You can send an e-mail to him.

Hiroyuki: That's nice, but I have never sent an e-mail in English.

Toshio : (②) I have sent many e-mails in English and David understood me.

Hiroyuki: How did you write your e-mails?

Toshio : In my e-mails, I used some easy words I learned in my English classes.

Hiroyuki: I see. I will also do that when I write my e-mail.

② ア. Don't worry.

イ. Yes, please.

ウ. Thank you.

エ. See you soon.

STEP26. 本文中の下線部を日本語に直しなさい。

問題 26 【 】

STEP

私は英語で電子メールを送ったことが一度もありません。

問 26 解答 【ア】

ルール②⑦ 名詞+ing は「・・・している名詞」と考える

「・・・している～」と人や物について説明を加えて言うときは<名詞+現在分詞（～ing）+語句>で表します。現在分詞とは進行形を作る動詞の～ing 形のことです。

(例) Look at the man playing the guitar. 「ギターを弾いている男性を見て下さい。」

問 27. 次の文章をよみ、後の問に答えなさい。 <三重県>

About one month later, the members went to the place by the river with Mr. Matsui. They found many empty cans and bottles around there. Yoko said, "I'm sad. This place was very clean." They waited there but couldn't watch any fireflies. Then, Hitomi found a man walking with a dog. She asked him, "Excuse me. Can we watch fireflies around here?" He answered, "No, you can't ..."

※fireflies : ホタル

問 27. 次の質問に 3 語以上の英文で答えなさい。

Did Hitomi find a man walking with a dog and ask him to watch fireflies with the other members?

STEP 本文中の下線部と質問を日本語に直しなさい。

下線部

質問

問への解答

STEP

<下線部>それから瞳は犬を連れて歩いている男性を見つけました。彼女は彼に尋ねました。「すみません、(私たちは) この近くでホタルを見ることができますか」と。彼は言いました。「いやできません」と。

<問>瞳は犬を連れた男性を見つけ、彼が他のメンバーと一緒にホタルを見るように頼みましたか。

答 27 : No, she didn't.